

様

け や き

宝塚けやきの里広報誌

Vol.5

2020.8

発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里



Contents

- ・ごあいさつ
- ・今月、日中の様子
- ・学びの広場

宝塚市の障害者施策について

宝塚けやきの里広報誌の7月号で、『すべての人が心豊かに、普通に暮らせる社会へ』と記載しましたが、こちらの文章は宝塚市の第4次障害者施策長期推進計画の基本的理念から引用させて頂きました。宝塚市には、障害者計画の長期計画があり、こちらの第4次の計画は、2011年から2020年までの10年間の計画となっております。そして、2021年から始まる宝塚市第5次障害者施策長期推進計画が2019年から宝塚市社会福祉審議会で話し合われており、今も継続しております。どのような計画になるのか期待しているのですが、大切なのはその計画が皆様の『豊かな生活』に繋がればと願っております。

所長 脇田 幸治

暑い季節がやってきました。

いつの間にか梅雨も明け、暑い日が続くようになっています。社会情勢下における新型コロナウイルス感染拡大防止の為、日常生活にも様々な制限があり、地域の季節行事等も中止になっているようです。コロナ禍で季節感を感じにくくなったりします。

しかし一つ視点を変えることでこれまで気付かなかったことに出会い、新しい発見があるかもしれません。

例えば、季節の食材を楽しんだり、季節の花を探すことはどうでしょうか。身近なところにある小さな気づきを大切にしてみましょう。

主任・サービス管理責任者 片山 翼

今月、日中の様子

タオルのギフト作業も頑張っています！

今月号ではタオルのギフト作業に取り組む皆様の様子を紹介します。

宝塚けやきの里では企業提携作業としてタオルのギフト作業を中心に取り組んでいます。入荷した資材をタオル、箱それぞれ順番に組み立てていきます。それぞれが組み上がると次に製品として出荷できるよう、箱に封入したり、組付けていきます。

作業を進めていく上で、一人で全ての工程を仕上げることは難しく、皆が各々に得意とするところを活かす為、作業工程を細分化し、取り組めるよう工夫しています。

製品は一種類だけでなく、複数ありますが、基本的な流れは大きく変わらない為、比較的安定して取り組んでいます。

これまで企業提携作業として一社のみの取引でしたが、今年度6月より新たにもう一社増やし、現在、二社と取引させて頂いております。二社目についてもタオルのギフト作業を中心とした企業です。



非接触型体温計を導入しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、当事業所においても非接触型体温計を導入しています。体温測定において利用者の皆さんも戸惑うことなく、笑顔で応じて頂いています。

体温測定と併せて、必要に応じてパルスオキシメーターを使用して、動脈血の酸素飽和度（SpO2）を計測して健康状態の確認を行っています。



季節の花を愛でる。

事業所花壇にアサガオやポーチュラカが可愛く咲いています。アサガオはツルを上へ上へと高く伸ばし、ポーチュラカは花壇一面を鮮やかに彩っています。

実は事業所奥手にも花壇があり、こちらには現在、アスパラガス、コスモス等が植えてあります。利用者様ご家族がこまめに手入れされています。いつもありがとうございます。



学びの広場

これまで福祉三法、六法、社会福祉法等について学びました。今回から連続シリーズで“障害者福祉”について学んでいきましょう。

我が国における障害福祉サービスは、戦後の救護施設等での取り組みをはじめとして、その後、「身体障害者福祉法」、「知的障害者福祉法」、「精神保健福祉法」といった障害種別に定められた法制度が成立し、それぞれに拡充が図られてきました。

1970年に障害種別を超えた「心身障害者対策基本法」が成立し、同法は1993年に改正され、障害者施策の基本となる「障害者基本法」が制定されました。

特徴は、(1)法の名称が心身障害者から障害者になったこと、(2)従来からの対象だった身体障害者（内部障害者を含む）と知的障害者に精神障害者が加えられたこと、(3)法の基本理念と目的が、「障害者があらゆる分野の活動に参加する機会を与えられる」ものとし、「障害者の自立と社会経済活動への参加の促進」と位置づけられたこと、(4)国に「障害者基本計画」の策定を義務づけ、毎年その進行や成果を国会に報告することとしたこと、(5)12月9日を「障害者の日」としたこと等です。

（資料参考：全国社会福祉協議会HP、小学館 日本大百科全書(ニッポニカ)）

今回はざっくりと障害者基本法までに留め、次回それ以降の流れについて学んでいきたいと考えています。ご意見、ご質問等をお聞かせ頂ければ光栄です。

